2023/3/4

**巻頭言**

**旧中山家住宅保存会(連島御殿を後世に)**

**三宅宏男**

●中山家住宅の引き受けについて

　16年前(平成19年)初春の頃、中山家邸宅石垣南の駐車場の任意売却のお話と並行して、邸宅部分の売却のお話もあり、いろいろ悩んで、家族内で相談し、お受けすることになりました。地元銀行・信金・農協・信用保証協会などの抵当権者の合意が出来たとのことで、たまたま私の祖父が、戦後某地元銀行の株式を購入しており、その後の増資等により増えておりましたので、これを処分してお引き受けしました。

●「文化財として残す」提案

12年ほど前、建築士会の皆さんから中山幹朗さんに、この邸宅を文化財として残していってはどうかと言う提案があり、私にも相談がありました。中山さんも私も、これしかこの屋敷を残していく方法はないなあと話しておりました。敷地面積（長屋門及び外塀の内側部分で約3000㎡）建物延べ面積(約1000㎡)とあまりにも規模が大きく、築後100年ほど経過しており、屋根瓦等の傷みがかなりあり、とても個人の力では全面的な修理は不可能な状態でありました。

●住宅再生の誓いとその後

7年ほど前、(株)山陽瓦社長・石井二郎さん、中山説太郎の孫・中山幹朗さん、建築士の中村陽二さん、私・三宅の4人を中心メンバーとして、「この中山家住宅を再生し、地域の皆様に活用していただいて後世に残していこう」と、「山小屋での誓い」が成立し、具体的に事が進み始めました。

1. 住宅の修繕の進捗

(株)山陽瓦の石井社長さんより破格の資金提供をいただき、屋根瓦の葺き替え、家屋の修繕等が毎年進み現在にいたっております。

2018～2019 　長屋門の屋根瓦の葺き替え・修理、長屋門東側のラン温室の除却、庭木の整理

2020 　離れ西側の台所の除却

2021 　米蔵・中蔵・内蔵の屋根瓦の葺き替え・修理、外蔵の除却

2022 　渡り廊下屋根の葺き替等

2023 　主屋裏の整備・敷石の再整備・内壁の修繕、庭木の剪定・邸宅周辺の樹木の伐採等

1. 国登録有形文化財への登録

建築士会の皆様が、10年ほど前から家屋の測量等をボランティアで実施していただきました。この測量図面等を基に文化庁に申請し、主屋、離れ・内蔵、中蔵、米蔵、長屋門の5棟がH30(1918)/11/2付けで登録されました。

1. ホームページの制作

2017年、郷土史を研究している知人の平松隆志さんにホームページ制作を依頼しました。施主の中山説太郎氏の調査では、情報不足で大変苦労されたようですが、2019年3月、下記のURLで公開しました。

旧中山家住宅　<http://nakayamake.com>

検索エンジンでは、「旧中山家住宅　倉敷」でヒットします

この様な、稀有な人々とのめぐり逢いがあり、この屋敷が持っている「本物の魅力」に、引き込まれたメンバーの「志」により、全国的にも例のない奇跡的な文化財の再生が進み、現在に至っております。

3年前からの新型コロナ流行の影響で、登録有形文化財プレートの設置およびお披露目のセレモニーの実

施が延期・・となり、やっと漕ぎ着けたわけであります。

終わりに、今日までの皆様の格別のご協力に対し、深く深くお礼申し上げますと共に、今後とも、皆様のご協力を賜り、この屋敷を有効活用していただき、連島・倉敷・岡山の宝として将来に残していけますよう、伏してお願い申し上げます。